MA1209-C © 2012 CASIO COMPUTER CO., LTD.

取扱説明書

5285(OC)P＊JA

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願い申し上げます。
また、本機をご使用になる前には、安全に正しくお使いいただくための注意事項「安全上のご注意」を必ずお読みください。
なお、この説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。

重要

ご使用いただく前に、まずは時計の充電量をご確認ください。

参照　充電量の確認… P.23

この時計の特長

この時計は、次の機能を備えています。

◆光で発電して動きます

太陽や照明の光によって発電します。電気エネルギーを充電しながら時計は動作します。

→ P.26

◆正確な時刻がわかります

時刻情報を乗せた電波を受信し、正確な時刻を表示します。

→ P.32

◆ワールドタイムがわかります

世界29都市の時刻を表示できます。
サマータイムは自動で切り替わるので、設定不要です。

→ P.64

◆ストップウオッチとして使えます

経過時間を1/20(0.05)秒単位で120分まで計測できます。

→ P.70

安全上のご注意

絵表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

絵表示の例

△ 記号は「気をつけるべきこと」(注意)を意味しています
(左の例は感電注意)。

⦸ 記号は「してはいけないこと」(禁止)を意味しています
(左の例は分解禁止)。

● 記号は「しなければならないこと」(強制)を意味しています(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)。

⚠危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⚠ 警告

本機をスキューバダイビング（アクアラング）に使用しないでください。

- 本機はダイバーズウオッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。

電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠ 注意

お手入れについて

ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。
ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとサビ易くなります。

⚠ 注意

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

① 金属・皮革に対するアレルギー
② 時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等
③ 体調不良等

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
- 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
- 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

⚠ 注意

分解しないでください

本機を分解しないでください。ケガをしたり、本機が故障する原因となることがあります。

⚠ 注意

ご使用にあたって

時計表示の確認は、思わぬ転倒やケガの予防のため、十分に安全が確認された場所で行ってください。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車等の運転中は事故の原因になることがありますので、十分にご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にも十分にご注意ください。

時計着脱の際に、バンドの中留で爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。

思わぬケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、就寝時は時計をはずすなど十分にご注意ください。

⚠ 注意

ご使用にあたって

幼児を抱いたり、接したりする場合は、幼児のケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、時計をはずすなど十分にご注意ください。

目次

本書について

本文中の記号について

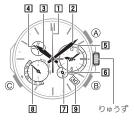
注意：誤った使用方法によるケガや故障を防ぐための情報を記載しています。

重要：正しく使用するために必要な情報を記載しています。

参考：各機能や操作の説明に関する補足情報を記載しています。

：詳細の説明や関連する項目などの参照ページを案内しています。

各部の名称

この時計の操作は、Ⓐ、Ⓑ、Ⓒボタンおよびりゅうずを使用します。また、各部の名称は次の通りです。

1 秒針
2 分針
3 時針
4 時針(24時間制)
5 小分針
6 小時針
7 小時針
(24時間制)
8 モード針
9 日付

参考

- この取扱説明書では針や表示を説明するために、図に記載した番号を使用しています。
- この取扱説明書に記載しているイラストは、視認性を考慮して実際のものとは異なる描写をしているものがあります。ご了承ください。

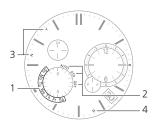
文字板の表示について

文字板の略語や文字は、以下の内容を表します。

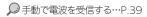
1. Su/Mo/Tu/We/Th/Fr/Sa：曜日
2. AUTO/STD/DST：サマータイムの設定

   サマータイムの設定…P.53

3. Y/N：受信結果、自動受信の設定

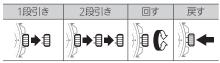
   手動で電波を受信する…P.39

   自動受信のON/OFF設定…P.43

4. R:電波受信中

手動で電波を受信する…P.39

ご使用になる前に

りゅうずの操作

りゅうずの操作について、イラストでは以下のように表現しています。

りゅうずは、2段階に引けます（無理に引っ張らないでください）。

りゅうずを回して針を動かすとき、以下の操作で針の動きを早送り/早戻しすることができます。
早送り/早戻しの設定は2段階あり、早送り2/早戻し2の状態で針がもっとも速く動きます。

早送り1/ 早戻し1		りゅうずを引いた状態で、時計方向（早送り）または、時計方向と逆（早戻し）にすばやく3度回す
早送り2/ 早戻し2		早送り1/早戻し1のときに、りゅうずをすばやく3度回す
解除		りゅうずを逆方向に回す、またはボタンを押す

重要

- 防水性能の低下や衝撃を受けた際の損傷を防ぐため、りゅうずを引いたままの状態で使用しないでください。
- りゅうずを引いた状態で2分以上（針のずれ補正の場合は約30分間）何も操作を行わないと、操作が効かなくなります。その場合は、りゅうずをいったん戻し、操作を最初からやり直してください。

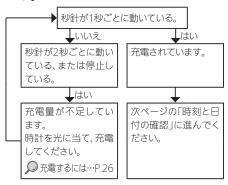
参考

- りゅうずを戻すとき、強く押し過ぎないようにご注意ください。
- 早送り/早戻しは、時刻合わせおよび針のずれ補正で使うことができます。

針と日付の動き方について

- この時計は、1秒針と2分針が連動しています。
  2分針を合わせるときは、1秒針が繰り返し回転します。
- この時計は、3時針と9日付が連動しています。
  9日付を合わせるときは、3時針を繰り返し回して合わせます。

充電量の確認

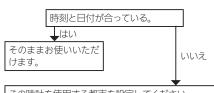
● チャートに従って、充電量を確認してください。

時刻と日付の確認

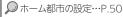
● チャートに従って、時刻と日付の表示を確認してください。

重要

- この時計を日本以外の国で使用する場合は、都市の設定が必要です。設定できる都市は、都市コード一覧表で確認できます。

  都市コード一覧表…P.104

- 都市を正しく設定しないと、以下の原因となります。
  - 電波を受信しない
  - 電波を受信しても、正しい時刻を表示しない

この時計を使用する都市を設定してください。

ホーム都市の設定…P.50

参考

工場出荷時の初期設定は、以下の通りです。

- ホーム都市:東京(TOKYO/TYO)
- サマータイム設定:AUTO

時刻と日付を合わせてください。

- 電波を受信できる場所でご使用の場合
  電波を受信するには…P.38
- 電波を受信できない場所でご使用の場合
  時刻と日付の調整…P.56

光で充電(ソーラー充電)

この時計は、ソーラーパネルで発電した電気をバッテリー(二次電池)に充電しながら動作します。ソーラーパネルは文字板と一体になっており、文字板に光が当たっているときは常に発電し充電しています。ご使用の際は、文字板(ソーラーパネル)に光を当てるように心がけてください。

充電するには

時計を腕から外しているときは、光が当たる明るい場所に置いてください。1ヵ月に1回、半日ほど日光に当てて充電すると、より安定した状態で使用できます。

腕につけているときは、文字板（ソーラーパネル）に衣類の袖がかからないように心がけてください。文字板（ソーラーパネル）が一部でも隠れていると発電効率が低下します。

注意

充電の際、光源の条件や環境によっては時計本体が非常に高温になることがあります。火傷をしないように注意してください。また、以下のような高温下での充電は避けてください。

- 炎天下に駐車している車のダッシュボードの上
- 白熱灯などの発熱体に近い所
- 直射日光が長時間当たり、高温になる所

充電不足や充電切れ

バッテリー（二次電池）の充電量は針の動きで確認します。充電不足になると、使用できる機能が制限されます。充電不足になったときは、文字板（ソーラーパネル）に光を当てて充電してください。

充電不足	充電切れ
1	9
1秒針が2秒ごとに動きます（バッテリー充電警告機能）	すべての針が12時位置で停止します • 9日付が31と1の間を表示します

充電切れのときに、しばらく光を当て続けると、1秒針が反時計回りに動き57秒の位置で停止します。これは、充電を開始したことを示します。充電時間については、次をご覧ください。

充電にかかる時間

充電の目安として、下表をご活用ください。

◆1 日、使用するために必要な充電時間

環境(照度)	充電時間
晴れた日の屋外など(50,000ﾙｸｽ)	8分
晴れた日の窓際など(10,000ﾙｸｽ)	30分
曇りの日の窓際など(5,000ﾙｸｽ)	48分
蛍光灯下の室内など(500ﾙｸｽ)	8時間

◆充電量の回復に必要な時間

環境(照度)	充電切れから時計が動き出すまで	時計が動き出してから満充電まで
晴れた日の屋外など(50,000ﾙｸｽ)	2時間	24時間
晴れた日の窓際など(10,000ﾙｸｽ)	6時間	89時間
曇りの日の窓際など(5,000ﾙｸｽ)	9時間	144時間
蛍光灯下の室内など(500ﾙｸｽ)	97時間	—

参考

実際の充電時間は環境によって異なります。

節電（パワーセービング機能）

パワーセービング機能とは、時計を暗い場所に置いておくと自動的に節電状態になる仕組みです。

節電状態になるまでの所要時間	針の機能の状態
暗い場所に置いてから約1週間	すべての針が12時位置で停止します。

参考

節電状態は、以下の方法で解除します。

- ボタンまたはりゅうずを操作する
- 時計を明るい場所に置く

自動的に時計を合わせる（電波時計）

この時計は、時刻情報を乗せた標準電波（以降、電波）を受信することで、正確な時刻と日付を表示します。

重要

電波を受信するためには、受信機能に対応している都市を設定しておく必要があります。

ホーム都市の設定…P.50

参考

日本で使用する場合は、購入時の初期設定から変更する必要はありません。購入時の初期設定は以下の通りです。

- 都市：東京（TOKYO/TYO）
- サマータイム設定：AUTO

受信機能に対応している都市

都市	受信する電波
TOKYO(TYO)	日本の標準電波(JJY)
HONG KONG(HKG)	中国の標準電波(BPC)
NEW YORK(NYC)/ CHICAGO(CHI)/ DENVER(DEN)/ LOS ANGELES(LAX)/ ANCHORAGE(ANC)/ HONOLULU(HNL)	アメリカの標準電波 (WWVB)
LONDON(LON)/ PARIS(PAR)/ATHENS(ATH)	イギリスの標準電波(MSF) ドイツの標準電波(DCF77)

重要

電波を受信できない地域や都市で使用するときは、手動で時刻を設定してください。

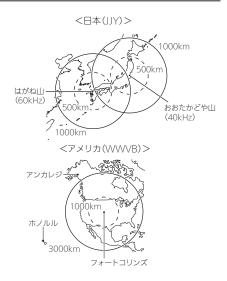
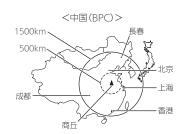
ホーム都市の設定…P.50

時刻と日付の調整…P.56

UTC(協定世界時)とタイムゾーン…P.102

電波の受信範囲と条件

<日本(JJY)>
1000km
500km
はがね山
(60kHz)
500km
おおたかどや山
(40kHz)
1000km
<アメリカ(WWVB)>
アンカレジ
1000km
ホノルル
3000km
フォートコリンズ

<中国（BPC）>

<イギリス（MSF）/ドイツ（DCF77）>

参考

- 電波の受信範囲内でも地形、天候、時期（季節）、時刻、無線ノイズの影響により受信できないことがあります。
  内側の円の範囲を越えると電波が弱くなりますので、それらの影響はより大きくなります。
  ホノルルおよびアンカレジの地域（タイムゾーン）は電波の受信範囲外ですが、条件が良いときは受信できます。
- この時計を使用する国と、電波を送信している国で、サマータイム制度の有無や実施期間などが異なる場合は、正しい時刻が表示されないことがあります。

  サマータイムの設定…P.53
- 中国は2012年6月の時点でサマータイム制度を導入していません。今後、この制度を導入した場合は、正しい時刻が表示されないことがあります。

受信場所

- 金属を避けて、時計の12時位置を窓に向けて置いてください。電波を受信させている間は、なるべく時計を動かしたり、操作をしたりしないでください。通常、夜間の方が電波を受信しやすくなります。
- 以下の場所では、電波を受信しにくくなります。
  - ビルの中およびその周辺
  - 乗り物の中
  - 家庭電化製品、OA機器、携帯電話などの近く
  - 工事現場、飛行場など電波障害が起きる場所
  - 高圧線の近く
  - 山間部、山の裏側

電波を受信するには

受信方法には、決まった時刻に時計が自動的に受信する自動受信と、ボタン操作で受信する手動受信があります。
受信には2〜10分かかりますが、状況によっては最大で20分かかる場合もあります。

◆自動的に電波を受信する

❶ 時計を受信しやすい場所に置いてください。

午前12時から午前5時の間に、1日最大6回（中国は1日最大5回）自動で受信します。ただし1日1回受信に成功すれば、その日は自動受信をしません。

❷ 受信が成功すると自動的に時刻を修正し、正確な時刻を表示します。

受信に失敗した場合は、時刻を修正しません。

参考

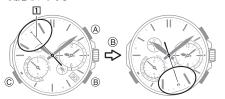
- ストップウオッチモードで、ストップウオッチ計測中は受信しません。
- りゅうずを引いているときは受信しません。

◆手動で電波を受信する

❶ Ⓒボタンを2秒以上押し続け、デュアルタイムモードに切り替えます。

デュアルタイムモード…P.48

❷ Ⓑボタンを2秒以上押し続けます。

1秒針が前回の受信結果「Y」（YES）または、「N」（NO）を示した後「R」（受信中）の位置に移動し、電波受信が開始されます。

参考

電波を受信している間は、時刻の表示が2～3分ずれることがあります。受信中に時刻を確認したい場合は、いずれかのボタンを押して受信を中止してください。

❸ 受信に成功すると自動的に時刻を修正します。

参考

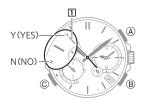
受信を失敗した場合は、周辺の受信環境を確認の上、再度受信操作を行ってください。

受信場所…P.37

受信結果を確認する

❶ Ⓒボタンを2秒以上押し続け、デュアルタイムモードに切り替えます。

デュアルタイムモード…P.48

❷ Ⓑボタンを押すと、前回の受信結果を確認できます。

1秒針の表示と受信結果

Y（YES）	受信成功
N（NO）	受信失敗

❸ Ⓑボタンを押す、または何も操作をしないまま約10秒経過すると現在時刻に戻ります。

参考

受信が成功していても、その後に手動で時刻や日付を変更した場合は、1秒針が「N」（NO）を示します。

◆自動受信の ON/OFF 設定

自動受信の設定をOFFにして自動受信機能を停止させることができます。

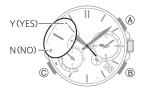
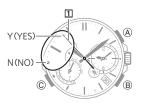
参考

電波の受信に対応している都市を設定している場合は、自動受信のON/OFF設定ができます。

都市コード一覧表…P.104

❶ Ⓒボタンを2秒以上押し続け、デュアルタイムモードに切り替えます。

デュアルタイムモード…P.48

❷ Ⓑボタンを押すと、前回の受信結果を表示します。

❸ 10秒以内（1秒針が受信結果を表示中）にりゅうずを1段引くと、1秒針が現在の設定を示します。

❹ りゅうずを回して、設定したい位置に1秒針を合わせます。

- 自動受信ONなら［Y］
- 自動受信OFFなら［N］

❺ りゅうずを戻します。

時刻の表示に戻ります。

重要

りゅうずを引いた状態で2分以上何も操作をしないと、操作が効かなくなります。その場合は、りゅうずをいったん戻し、操作を最初からやり直してください。

受信のご注意

- 電波を受信して時刻を修正する際に、時計内部の演算処理などにより若干(1秒未満)のずれが発生します。
- 以下の状態では、電波を受信することができません。
  - 充電不足のとき
  - 節電状態のとき
- 電波障害により誤った信号を受信したときは、再度電波を受信してください。
- 電波の受信による時刻の修正ができないときは、平均月差±15秒の精度で動きます。

モードの種類と切り替え

各モードの機能とモード切り替え方法は以下の通りです。

各モードでできること

モード	機能	参照ページ
デュアルタイム	• ホーム都市とワールドタイム都市の時刻表示 • ホーム都市、サマータイムの設定 • 電波受信、電波の手動受信、受信結果の表示 • 時刻、日付の手動合わせ • 電波の自動受信のON/OFF設定 • ワールドタイム都市の設定 • ホーム都市とワールドタイム都市の入れ替え	P.48 P.50 P.38 P.56 P.43 P.64 P.67
ストップウオッチ	• 1/20(0.05)秒単位での時間計測 • オートスタート機能	P.70 P.72

操作概略

デュアルタイムモード

Ⓐボタン

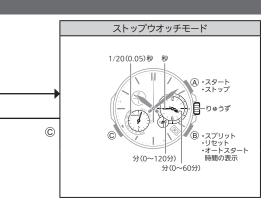
- 1回押すと秒針がホームタイム都市を約1秒間示します。

Ⓑボタン

- 1回押すと電波の受信結果が確認できます。
- 2秒以上押し続けると電波受信を開始します。

Ⓒボタン

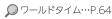
- 1回押すとストップウオッチに切り替わります。
- 2秒以上押し続けると、どの状態からでもデュアルタイムモードに戻ることができます。

Ⓒ

参考

日付はおよそ午後10時〜午前2時にかけて少しずつ変わります(午前0時は、日付が中央に表示されていません)。

ホーム都市の設定と時計の合わせ方

この時計は、世界29都市とUTC（協定世界時）の中から、使用する都市をホーム都市に設定すれば、自動的に都市の現在時刻を表示します。
また、ワールドタイム都市（もう一つの都市）を設定し、表示できます。

ワールドタイム…P.64

ホーム都市の設定

設定できる都市は、都市コード一覧表にある都市です。

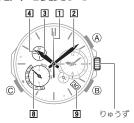
都市コード一覧表にない都市でこの時計を使用するときは、同じタイムゾーンの都市を設定します。タイムゾーンは巻末の「UTC（協定世界時）とタイムゾーン」で確認できます。

UTC（協定世界時）とタイムゾーン…P.102

都市コード一覧表…P.104

重要

この時計を日本で使用する場合は、都市を東京（TOKYO/TYO）に設定します。

◆ホーム都市を変更する

1 秒針：都市コードを示します。

2 分針

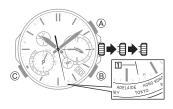
3 時針

4 時針（24時間制）

8 モード針：サマータイム設定を表します。

9 日付

❶ **りゅうずを2段引きます。**

- ホーム都市を変更できる状態になります。
- 1秒針が現在選択している都市コードを示します。

❷ **りゅうずを回し、1秒針を設定したい都市コードの位置に合わせます。**

都市を変更すると、3時針、2分針および9日付が動き、選択した都市の時刻、日付を表示します。

- 1秒針が12時をまたいで動くときは、一度逆方向に回転します。
- 8モード針が、選択した都市のサマータイムの設定を示します。

❸ **りゅうずを戻します。**

時刻の表示に戻ります。

重要

りゅうずを引いた状態で2分以上何も操作をしないと、操作が効かなくなります。その場合は、りゅうずをいったん戻し、操作を最初からやり直してください。

サマータイムの設定

この時計は、都市ごとにサマータイムを設定できます。
各都市のサマータイムの設定は、「AUTO」が初期状態です。サマータイムの設定が「AUTO」であれば、自動でサマータイムへ切り替わるので、設定を変更する必要はありません。
ただし、次の場合は「AUTO」から「STD」または「DST」に設定を変更してご使用ください。

- 都市コード一覧にない都市で使用する場合
- サマータイムの実施期間が異なる場合

参考

サマータイムとは、DST（Daylight Saving Time）とも言い、通常の時刻（STD：スタンダードタイム）から1時間進める夏時間制度のことです。
サマータイムの実施期間や実施地域は、国によって異なります。また、サマータイム制度を採用していない国や地域もあります。

都市コード一覧表…P.104

サマータイムの設定とそれぞれの設定内容

AUTO （STD/DST自動切り替え）	スタンダードタイムとサマータイムがカレンダーによって自動で切り替わります。
STD （STD固定）	常にスタンダードタイムを表示します。
DST （DST固定）	常にサマータイムを表示します。

◆サマータイムの設定を切り替える

❶ りゅうずを2段引き、都市コードセット状態にします。

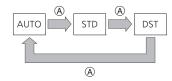
[8]モード針が現在のサマータイムの設定を示します。

❷ Ⓐボタンを1秒間押し続けます。

Ⓐボタンを1秒間押すごとに、サマータイムの設定が、次の順番に切り替わります。

❸ りゅうずを戻します。

時刻の表示に戻ります。

重要

りゅうずを引いた状態で2分以上何も操作をしないと、操作が効かなくなります。その場合は、りゅうずをいったん戻し、操作を最初からやり直してください。

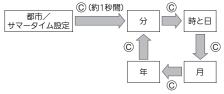
時刻と日付の調整

電波を受信できない地域で使用するときは、時刻と日付を手動で合わせます。

重要

電波を受信できる地域で使用しているときは、電波の受信による時刻と日付の修正をおすすめします。

りゅうずを2段引いて、Ⓒボタンを押すごとに、設定できる箇所が以下の順に移動します。

- 該当箇所の針が動きます。
  「時と日」では 3 時針が少し動きます。
  「月」では 1 秒針が動きます。「年」では 5 小分針、6 小時針が少し動きます。

設定した後、りゅうずを戻してください。 時刻の表示に戻ります。

◆時刻と日付の合わせ方

1 秒針
2 分針
3 時針
4 時針(24時間制)
8 モード針:サマータイム設定を表します。
9 日付

❶ りゅうずを2段引きます。

1秒針が現在選択している都市コードを示し、8モード針が現在のサマータイムの設定を示します。

❷ 都市とサマータイムを設定します。

ホーム都市の設定…P.50

サマータイムの設定…P.53

❸ Ⓒボタンを約1秒間押し続け、時刻の手動合わせ状態にします。

❹ りゅうずを回し、「分」を合わせます。

針は早送り/早戻しで合わせることができます。

りゅうずの操作…P.20

❺ Ⓒボタンを押します。

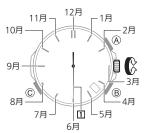
3時針が少し動いて、「時と日」を設定できる状態になったことをお知らせします。

❻ りゅうずを回し、「時と日」を合わせます。

- 9日付を合わせるには、3時針を繰り返し回して合わせます。
- 9日付は午後10時～午前2時にかけて少しずつ変わります（午前0時は、日付が中央に表示されていません）。
- 午前・午後は、9日付の切り替わりを参考に、合わせてください。
- 針は早送り/早戻しで合わせることができます。

❼ Ⓒボタンを押して、「月」を設定できる状態にします。

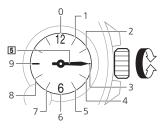
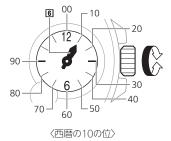
1秒針が現在の月まで移動します。

❽ りゅうずを回し､｢月｣を設定します。

❾ Ⓒボタンを押して､｢年｣を設定できる状態にします。

- 5小分針:西暦の1の位を表示します。
- 6小時針:西暦の10の位を表示します。
- 1秒針:12時位置に移動します。

⑩ りゅうずを回し、「年」を設定します。

〈西暦の1の位〉

〈西暦の10の位〉

⑪ 時報に合わせて、りゅうずを戻します。

時刻の表示に戻ります。

参考

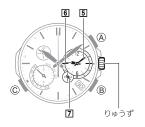
日付の設定は、月ごとの日数の違いや、うるう年にも対応しています（フルオートカレンダー）。

重要

りゅうずを引いた状態で2分以上何も操作をしないと、操作が効かなくなります。その場合は、りゅうずをいったん戻し、操作を最初からやり直してください。

ワールドタイム

世界29都市（29タイムゾーン）の時刻を知ることができます。ワールドタイムで選択した都市を「ワールドタイム都市」といいます。

針の見方

5 小分針／6 小時針／7 小時針（24時間制）：
ワールドタイム都市の時刻を表示します。

ワールドタイム都市を選択する

❶ りゅうずを1段引きます。

- ワールドタイム都市を変更できる状態になります。
- 1秒針が現在選択しているワールドタイム都市を示します。

❷ りゅうずを回し、1秒針を設定したい都市コードの位置に合わせます。

- 都市コードを選択すると、5小分針、6小時針および7小時針（24時間制）が動き、選択した都市の時刻を表示します。
- 1秒針が12時をまたいで動くときは、一度逆方向に回転します。
- 8モード針が、サマータイムの設定を示します。

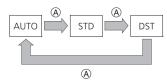
UTC（協定世界時）とタイムゾーン…P.102

都市コード一覧表…P.104

❸ サマータイムの設定を変更するには、Ⓐボタンを1秒間押し続けます。

Ⓐボタンを1秒間押すごとに、サマータイムの設定が、次の順番に切り替わります。

- 「AUTO」に設定すると、自動でサマータイムへ切り替わります。

サマータイムの設定とそれぞれの設定内容…P.54

参考

都市コードで「UTC」を選択しているときは、「STD」と「DST」の切り替えはできません。

❹ りゅうずを戻します。

重要

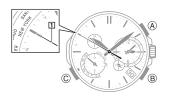
りゅうずを引いた状態で2分以上何も操作をしないと、操作が効かなくなります。その場合は、りゅうずをいったん戻し、操作を最初からやり直してください。

ホーム都市とワールドタイム都市を入れ替える

例）ホーム都市が東京（TOKYO/TYO）で、ワールドタイム都市がニューヨーク（NEW YORK/NYC）の場合

	ホーム都市	ワールドタイム都市
操作前	東京 午後10時08分 （スタンダードタイム）	ニューヨーク 午前9時08分 （サマータイム）
操作後	ニューヨーク 午前9時08分 （サマータイム）	東京 午後10時08分 （スタンダードタイム）

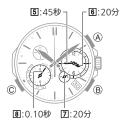
Ⓐボタンを約3秒間押し続けます。

- ホーム都市とワールドタイム都市が入れ替わります。
- 1秒針がホーム都市のニューヨーク（NEW YORK/NYC）を約1秒間示し、時刻が入れ替わります。

この時計を日本で使用する場合は、ホーム都市を東京（TOKYO/TYO）に設定します。

ストップウオッチ

ストップウオッチは1/20（0.05）秒単位で119分59秒95（120分計）まで計測できます。計測範囲を超えた場合は、計測を停止します。

針の見方

例）計測時間が「20分45秒10」の場合

8 モード針：計測時間を1/20（0.05）秒単位で表示します。
- 文字板に0.05秒単位の目盛りが印刷されています。

5 小分針：計測時間を1秒単位で表示します。
6 小時針：計測時間を1分単位で表示します（0〜60分）。
7 小時針（24時間制）：計測時間を1分単位で表示します（0〜120分）。

計測する

❶ **デュアルタイムモードでⒸボタンを押し、ストップウオッチモードに切り替えます。**

操作概略…P.48

❷ **計測するときのボタン操作は、以下の通りです。**

- 通常計測

- スプリットタイム（途中経過時間）の計測

Ⓐ → Ⓑ → 約5秒後 → Ⓐ → Ⓑ

スタート　スプリット　スプリット解除　ストップ　リセット

- スプリットタイムの表示中にもう一度Ⓑボタンを押すと、新しいスプリットタイムを表示します。
- スプリットタイムの表示中にⒶボタンを押すと、計測が止まり、ストップ時間を表示します。

参考

8モード針（1/20（0.05）秒針）は計測開始から30秒間動きます。30秒経過後は12時位置で止まり、計測を停止すると計測時間の位置まで針が動きます。

オートスタート機能

オートスタート機能とは、設定した時間（オートスタート時間）からカウントダウンを開始し、時間が0になると自動的にスタート（計測開始）するものです。

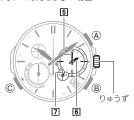
オートスタート時間を設定する

0～119分59秒の間で設定できます。

1. ストップウオッチモードで、りゅうずを1段引きます。

❷ りゅうずを回し、オートスタート時間の「秒」を設定します。

- 針は早送り/早戻しで合わせることができます。
- りゅうずを回し続けると「分」も合わせることができます。

例）計測時間が「10分0秒」の場合

5 小分針：オートスタート秒
6 小時針：オートスタート分（0〜60分）
7 小時針（24時間制）：オートスタート分（0〜119分）

❸ Ⓒボタンを押します。

❹ りゅうずを回し、オートスタート時間の「分」を設定します。

針は早送り/早戻しで合わせることができます。

❺ りゅうずを戻します。

重要

りゅうずを引いた状態で2分以上何も操作をしないと、操作が効かなくなります。その場合は、りゅうずをいったん戻し、操作を最初からやり直してください。

オートスタートで計測を開始する

❶ ストップウオッチモードで、計測リセット状態のとき、Ⓑボタンを押します。

- オートスタート時間が表示されます。
- Ⓑボタンを押すごとに通常表示とオートスタート時間の表示が切り替わります。

❷ オートスタート表示のとき、Ⓐボタンを押します。

- オートスタート時間からカウントダウンを始めます。
- オートスタートした後の各ボタン操作は「通常計測」「スプリットタイム（途中経過時間）の計測」をご覧ください。

参考

- カウントダウンを中止し、すぐにスタートするときは、Ⓐボタンを押します。
- 計測開始後は、通常のストップウオッチのボタン操作と同様になります。
- 計測を終了してリセットをすると、オートスタートも解除されます。ただしⒷボタンを押すと、前回設定したオートスタート時間を表示します。

針のずれ補正

強い磁気や衝撃を受けると、針や日付の表示がずれることがあります。この状態では電波を受信しても正確な時刻が表示できなくなります。

1秒針、2分針、3時針のずれ補正は自動的に行います。また、手動で補正を開始することもできます。

- 4時針(24時間制)は、3時針と同時に補正されます。

5小分針、6小時針、7小時針(24時間制)、8モード針および、9日付の表示がずれているときは、手動で補正してください。

- 7小時針(24時間制)は、6小時針と同時に補正されます。

針のずれを補正する

重要

正しい時刻を表示しているときは、この操作を行う必要はありません。

❶ りゅうずを2段引きます。

❷ Ⓑボタンを1秒針が12時の位置を示すまで(5秒以上)押し続けます。

- 1秒針が12時の位置を示したら、Ⓑボタンを離します。すると、1秒針、2分針、3時針の補正を、自動的に開始します。
- 1秒針、2分針、3時針が12時位置に移動して、補正が完了します。

❸ Ⓒボタンを押します。

- 3時針が回転し、9日付が進みます。
- 9日付が31と1の間を表示するまで待ちます。

❹ 9日付が31と1の間を表示していないときは、りゅうずを回して、31と1の間に合わせます。

りゅうずを回すと、3時針が12時間ずつ動き9日付が半日動きます。

❺ Ⓒボタンを押し、5小分針が12時位置で停止することを確認します。

5小分針の停止位置がずれているときは、りゅうずを回して12時位置に合わせてください。

❻ Ⓒボタンを押し、6小時針が12時位置で停止することを確認します。

- 6小時針の停止位置がずれているときは、りゅうずを回して12時位置に合わせてください。
- 7小時針（24時間制）は、6小時針と同時に動きます。12時間ずれていたときは、6小時針を進めて合わせてください。

❼ Ⓒボタンを押し、8モード針が12時位置で停止することを確認します。

8モード針の停止位置がずれているときは、りゅうずを回して12時位置に合わせてください。

❽ りゅうずを戻します。

元のモードに戻り、時刻を表示します。

✔ 重要

りゅうずを引いた状態で約30分間何も操作をしないと、操作が効かなくなります。その場合は、りゅうずをいったん戻し、操作を最初からやり直してください。

りゅうずを戻すと、それまでに補正してある針は、補正された状態でデュアルタイムモードに戻ります。

参考

補正を中止したいときは、りゅうずを戻してください。それまでに補正してある針は、補正された状態でデュアルタイムモードに戻ります。

お困りのときは

針の動きと表示

状況	原因と対処
現在の表示モードがわからない	ⓒボタンを2秒以上押し続け、デュアルタイムモードに戻ってください。 操作概略…P.48
秒針が2秒ごとに動いている	充電が不足しています。光に当てて充電してください。 充電するには…P.26
すべての針が12時位置で停止し、ボタン操作ができない	充電切れです。充電が回復するまで光を当ててください。 充電にかかる時間…P.29

<table>
<tr><th>状況</th><th>原因と対処</th></tr>
<tr><td>突然、針の動きが速くなった</td><td>以下が原因の場合は故障ではありません。通常の動きに戻るまでお待ちください。
● パワーセービング機能を解除し、復帰している。
節電(パワーセービング機能)…P.30
● 電波の自動受信により、時刻修正をしている。
電波を受信するには…P.38</td></tr>
<tr><td>針の動きが止まり、ボタン操作ができなくなった</td><td>充電回復モードの状態です。回復するまで(約15分)お待ちください。明るい場所に置いて充電すると早く回復します。
参考
電波受信を短時間に連続使用すると充電が急激に減少するため、一時的に針の動きを停止して充電回復モードに切り替わります。充電回復モードのときは、すべての機能が使用できなくなりますが、回復すると通常の状態に戻ります。</td></tr>
</table>

状況	原因と対処
現在時刻の表示が数時間ずれている	都市の設定が正しくありません。 都市の設定を確認してください。 ホーム都市の設定…P.50
現在時刻の表示が1時間ずれている	サマータイム設定の「STD(スタンダードタイム)」と「DST(サマータイム)」が正しくありません。 サマータイムの設定…P.53
	サマータイム設定の「STD(スタンダードタイム)」または「DST(サマータイム)」が手動設定になっています。 サマータイムの設定…P.53
時刻と日付の表示位置がずれている	強い磁気や衝撃の影響で針の位置にずれが生じることがあります。ずれを補正してください。 針のずれ補正…P.77
時刻は合っているが、日付が中央に表示されていない	日付はおよそ午後10時〜午前2時にかけて少しずつ変わりますので、この時間帯のときは故障ではありません。また、ホーム都市を変更し、変更した都市がこの時間帯のときも同様です。

りゅうずの操作

状況	原因と対処
りゅうずを回しても、何も操作ができない	りゅうずを引いたまま2分以上(針のずれ補正の場合は約30分間)何も操作をしないと、操作が効かなくなります。 りゅうずをいったん戻した後、再度引いてください。 りゅうずの操作…P.20

充電

状況	原因と対処
光に当てても操作できない	充電切れになると操作ができなくなります。充電が回復するまで光を当ててください。 充電にかかる時間…P.29

電波受信

この項目は、以下の都市を設定している場合に該当します。
TOKYO(TYO), HONG KONG(HKG), NEW YORK(NYC), CHICAGO(CHI), DENVER(DEN), LOS ANGELES(LAX), ANCHORAGE(ANC), HONOLULU(HNL), LONDON(LON), PARIS(PAR), ATHENS(ATH)

状況	原因と対処
電波の受信が成功しない (受信結果が「N(NO)」になる)	電波受信中に時計を動かしたり、ボタンを操作した。 電波を受信させるときは、受信の場所に注意して、時計が受信をしやすい環境に置いてください。 受信場所…P.37
	電波障害による受信の失敗。 周辺の環境を確認し、電波障害のない所で受信してください。 電波の受信範囲と条件…P.34

状況	原因と対処
電波の受信が成功しない （受信結果が「N（NO）」になる）	送信所から電波が送信されていない可能性があります。 独立行政法人情報通信研究機構（NICT）日本標準時グループのホームページ等をご確認ください。 電波の受信範囲と条件…P.34
電波が受信できない	都市の設定が正しくない可能性があります。 都市の設定を確認してください。 ホーム都市の設定…P.50
	充電量が不足しています。 充電量が不足すると受信できません。充電量が回復するまで光を当ててください。 充電不足や充電切れ…P.28

製品仕様

精度	：	電波受信による時刻修正ができない場合は、平均月差±15秒
基本機能	：	時・分・秒、日付（2000～2099年までのフルオートカレンダー）
電波時計機能	：	自動受信・手動受信 受信結果確認機能 スタンダードタイム／サマータイムの自動／手動切り替え 受信局自動選択機能（JJY、MSF/DCF77で対応） 受信電波　コールサイン： JJY（40kHz/60kHz）、BPC（68.5kHz）、WWVB（60kHz）、MSF（60kHz）、DCF77（77.5kHz）
ワールドタイム機能	：	世界29都市と協定世界時（UTC）の時刻を表示、サマータイム自動設定機能
ストップウオッチ機能	：	計測単位　1/20（0.05）秒 計測範囲　119分59秒95（120分計） 計測機能　経過時間、スプリット計測、オートスタート機能

その他：針位置自動補正機能、パワーセービング機能、バッテリー充電警告機能

使用電池：二次電池

持続時間：約5ヵ月（1日あたり、電波受信1回（約4分）使用した場合）

ご使用上の注意

■防水性

● 防水時計は時計の表面または裏蓋に「WATER RESIST」「WATER RESISTANT」と表示されているもので、次のように分類されます。

		日常生活用防水	日常生活用強化防水		
			5気圧防水	10気圧防水	20気圧防水
表示	時計の表面または裏蓋に表記	「BAR」表記無し	5BAR	10BAR	20BAR
使用例	洗顔、雨	○	○	○	○
	水仕事、水泳	×	○	○	○
	ウインドサーフィン	×	×	○	○
	スキンダイビング（素潜り）	×	×	○	○

- 専門的な潜水＝スキューバダイビング（空気ボンベ使用）でのご使用はお避けください。

● 時計の表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されていないものは防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。

● 防水構造の機種でも水中や、水分のついたまま、りゅうずやボタンの操作をしないでください。

● 防水構造の機種でも、時計をつけたままの入浴、洗剤等（石鹸・シャンプーなど）のご使用をお避けください。防水性能を低下させる原因となります。

● 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。

● 防水性を保つために定期的(2〜3年を目安)なパッキン交換をおすすめします。

● 電池交換の際、防水試験を行いますので、必ずお買い上げの販売店あるいは「修理サービス窓口」にお申し付けください(特殊な工具を必要とします)。

● 防水時計の一部にデザイン上、皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態で、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

● 時計が急冷された場合など、ガラスの内側が曇ることがありますが、すぐに曇りが無くなるようであれば特に問題はありません。曇りが消えなかったり、水が時計内部に浸入した場合は、そのままご使用にならず、ただちに修理することが必要です。

● 時計内部に浸入した水は、電子部品や機械、文字板などを破損する原因となります。

■バンド

● バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。

● バンドは劣化やさび(錆)などにより切れたり外れたりする場合があり、時計の落下や紛失の原因となります。バンドは、常にお手入れしていただき、清潔にご使用ください。
バンドに弾力性がなくなったり、ひび割れ・変色・緩みなどがある場合は、お早めに点検・修理(有償)または新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にバンド交換(有償)をお申し付けください。

■温度

● 自動車のダッシュボードや暖房器具の近く等の高温になる場所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったり、故障の原因となります。

■ショック

● 通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると、故障の原因になります。
ただし、耐衝撃構造の時計の場合（G-SHOCK/Baby-G/G-ms）は腕につけたままでチェーンソーなどの強い振動や、激しいスポーツ（モトクロスなど）でのショックを受けても時計には影響ありません。

■磁気

● アナログ時計やコンビネーション（アナログとデジタル）時計は、針を動かすために磁石の性質を利用したモーターを駆動させる方式を採用していますが、このモーターは強い磁気（オーディオ機器のスピーカー、磁気ネックレス、携帯電話など）を発生する器具に近づけるとモーターの回転に影響を受け、針の「遅れ・進み・止まり・誤った時刻表示」などの原因となります。

■静電気

● 静電気により誤った時刻を表示したりします。また、極度に強い静電気は、電子部品を破損する恐れがあります。

■薬品類

- シンナー、ガソリン、各種溶剤、油脂またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類等が付着すると、樹脂ケース、樹脂バンド、皮革などに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■保管

- 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■樹脂製品について

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が樹脂製品に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、他の製品に密着させたままにしないでください。
- 長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま放置すると色あせする場合があります。
- 塗装部品は、使用状況（過度の外力、連続したこすれ、衝撃等）により磨耗し色落ちしたりすることがあります。
- バンドにプリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。
- 蛍光商品は、長時間濡れたままにしておくと色が落ちる恐れがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとって、乾かしてください。
- スケルトン（透明）仕様の部品は、汗や汚れ等の吸収や高温多湿への放置により変色を起こすことがあります。
- 樹脂部品の交換は、「修理サービス窓口」にお申し付けください。有償にて申し受けます。

■天然皮革・合成皮革バンドについて

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が天然皮革や合成皮革に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、他の製品に密着させたままにしないでください。
- 長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま長時間放置すると色あせする場合があります。

  ご注意：天然皮革・合成皮革は、摩擦・汚れにより色を移したり、色落ちすることがあります。

■金属製品について

- 金属を使用した製品・バンドは、ステンレスやメッキ品でも汚れたままご使用になりますと、さび（錆）が発生することがあります。汗をかいたときや水に濡らしたときは、柔らかい吸湿性の良い布などで良く拭き取った後に、通気性の良い場所に保管し、良く乾燥させてください。
- バンドは、時々、柔らかい歯ブラシなどにより、中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水でバンドを洗って、良く手入れをしてください。このとき、時計の本体にかからないようご注意ください。

■抗菌防臭バンドについて

● 抗菌防臭バンドは汗などによる細菌の増殖を抑え、においの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。抗菌・防臭の効果を上げるために、バンドの汚れ、汗、水分等は吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にしてご使用ください。抗菌防臭バンドは微生物や細菌の増殖を抑えるためのもので、アレルギー等による皮膚のかぶれ等を抑えるものではありません。

万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

お手入れについて

■お手入れのしかた

● ケース・バンドは汚れからさびが発生し、衣服の袖口を汚したり、皮膚がかぶれたり時計の性能が劣化することがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとさび易くなります。

● 樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また布等で簡単にふきとることができます。

● 皮革バンドは乾いた布で軽く拭くなどして常に清潔にしてご使用ください。樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。

● バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても有償にて申し受けます。

● 時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。

■お手入れを怠ると

〈さび（錆）〉

● 時計で使用している金属はさびにくい性質ですが、汚れによりさびが発生します。
  - 汚れにより酸素が絶たれると、表面の酸化皮膜が維持できなくなり、さびが発生します。

● 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやさびがしみ出して、衣類の袖を汚したり、皮膚がかぶれたり、時計の性能が劣化することがあります。

〈劣化〉

● 樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に放置すると経年劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

〈かぶれ〉

● 皮膚の弱い方や体調により、かぶれたりすることがあります。特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをしてください。万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

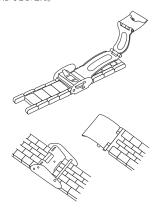
本製品で使用している電池について

- 専用の二次電池を使用しておりますので、お客様は電池を取り外さないでください。専用の二次電池以外の電池を入れると時計の破損の原因になります。
- 二次電池は、ソーラーパネルが受ける光により充電されますので、定期的な電池交換の必要はありません。ただし、長年の充電と放電を繰り返すことにより性能が劣化して、充電しても使用時間が短くなることがあります。その場合は、お買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」にご相談ください。

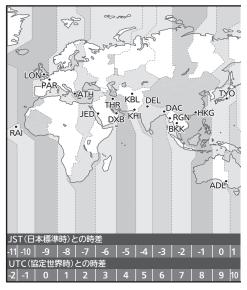
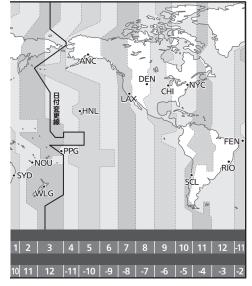
金属バンドの駒詰めについて

金属バンド（フリータイプの中留構造バンド※を除く）の駒詰めには専用の工具が必要となります。
お取り扱いによる、部品の変形や破損、またはケガ等を予防するためにも、お買い上げの販売店にご相談ください。
なお、「持込修理サービス受付窓口」においても保証期間内は無償、保証期間経過後は有償にて承っております。
詳しくは、「持込修理サービス受付窓口」または「修理に関するお問い合わせ窓口」へお問い合わせください。

※ 中留をスライドさせて長さ調整するフリータイプのバンドでは、駒の取り外しはできません。

（例）

UTC（協定世界時）とタイムゾーン

地図から目的地のタイムゾーンをご確認ください。

ANC
DEN
CHI
NYC
LAX
HNL
日付変更線
FEN
PPG
NOU
SYD
WLG
RIO
SCL
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
-11
10
11
12
-11
-10
-9
-8
-7
-6
-5
-4
-3
-2

都市コード一覧表

コード		タイムゾーン	都市名
UTC		0	協定世界時
LONDON	LON	0	ロンドン
PARIS	PAR	+1	パリ
ATHENS	ATH	+2	アテネ
JEDDAH	JED	+3	ジェッダ
TEHRAN	THR	+3.5	テヘラン
DUBAI	DXB	+4	ドバイ
KABUL	KBL	+4.5	カブール
KARACHI	KHI	+5	カラチ
DELHI	DEL	+5.5	デリー
DHAKA	DAC	+6	ダッカ
YANGON	RGN	+6.5	ヤンゴン
BANGKOK	BKK	+7	バンコク
HONG KONG	HKG	+8	香港
TOKYO	TYO	+9	東京
ADELAIDE	ADL	+9.5	アデレード
SYDNEY	SYD	+10	シドニー
NOUMEA	NOU	+11	ヌーメア
WELLINGTON	WLG	+12	ウェリントン
PAGO PAGO	PPG	−11	パゴパゴ
HONOLULU	HNL	−10	ホノルル

サマータイム期間	
サマータイム開始	サマータイム終了
なし	なし
3月最終日曜1時	10月最終日曜2時
3月最終日曜2時	10月最終日曜3時
3月最終日曜3時	10月最終日曜4時
なし	なし
3月22日0時または3月21日0時	9月22日0時または9月21日0時
なし	なし
なし	なし
なし	なし
なし	なし
なし	なし
なし	なし
なし	なし
なし	なし
なし	なし
10月第1日曜2時	4月第1日曜3時
10月第1日曜2時	4月第1日曜3時
なし	なし
9月最終日曜2時	4月第1日曜3時
なし	なし
なし	なし

コード		タイムゾーン	都市名
ANCHORAGE	ANC	−9	アンカレジ
LOS ANGELES	LAX	−8	ロサンゼルス
DENVER	DEN	−7	デンバー
CHICAGO	CHI	−6	シカゴ
NEW YORK	NYC	−5	ニューヨーク
SANTIAGO	SCL	−4	サンティアゴ
RIO DE JANEIRO	RIO	−3	リオデジャネイロ
F. DE NORONHA	FEN	−2	フェルナンド・デ・ノローニャ
PRAIA	RAI	−1	プライア

参考

- この表は2012年6月現在作成のものです。
- 設定する都市コードがわからないときは、使用場所のタイムゾーンを確認し、タイムゾーンが一致する都市コードを選択してください。
- この表のタイムゾーンは、協定世界時（UTC）を基準としたものです。

サマータイム期間	
サマータイム開始	サマータイム終了
3月第2日曜2時	11月第1日曜2時
3月第2日曜2時	11月第1日曜2時
3月第2日曜2時	11月第1日曜2時
3月第2日曜2時	11月第1日曜2時
3月第2日曜2時	11月第1日曜2時
10月第2土曜24時	3月第2土曜24時
10月第3日曜0時	2月第3日曜0時または 2月第4日曜0時
なし	なし
なし	なし

- この表のサマータイム期間は、その都市で採用しているサマータイム期間です。一覧に無い都市で使用するときは、一覧にある同じタイムゾーンの都市を設定し、サマータイムの設定を行ってください。

サマータイムの設定…P.53